

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 産業教育・キャリア教育担当

内線: 6769

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	県立高校キャリア教育総合推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0501 確かな学力と自立する力の育成		SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-4
1 事業の概要			5 事業説明						
一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てること主とした就職指導が必要である。社会の中で企業等の学校外での人との繋がりや社会体験を通して、自身の進路を主体的に選択する力を育成する。さらに、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促すためのキャリア教育を充実させる。			(1) 事業内容						
(1) 就職支援アドバイザー配置費 △935千円 見込みを下回ったことによる減額			ア 就職支援アドバイザー配置費 8,720千円 (ア) 就職支援アドバイザー配置費用						
(2) キャリア教育推進事業 △180千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額			イ キャリア教育推進事業 1,152千円 (イ) キャリアデザインセミナー等実施 (ロ) 地域企業経営者による講演会 (ハ) 消費者教育研修会						
2 事業主体及び負担区分			(2) 事業計画						
(1) (国1/3・県2/3)			高校生一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育をより一層推進する。このために、様々な企業等外部機関による教育力を積極的に活用する。						
(2) (県10/10)			(3) 事業成果						
3 地方財政措置の状況			高校生が主体的に自身の進路を選択するために必要な力を学校外部との触れ合いを通して培い、加えて豊かな人間性や社会性を備えた将来にわたって社会的・職業的に自立する力を育成することができる。						
地方交付税(単位費用)			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況						
(区分) 高等学校費(細目)教職員経費			各事業において、外部人材の適切な活用が図られている。そのために他団体との連携を強めながら事業を実施していく。						
(細節) 教職員経費			(5) その他【前年度からの変更点】						
(積算内容) 補習等のための指導員等派遣事業			ア 就職支援アドバイザーに係る勤務日数の見直しによる減						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			(6) 補正予算の概要						
9,500千円×1.4人=13,300千円			予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額						
予算額			財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
			国庫支出金	使用料・手数料					
決定額	△1,115							△1,115	8,757
現計額	9,872	1,728	15,717					△7,573	

事業内訳書

事業名	県立高校キャリア教育総合推進事業		
単位事業名	就職支援アドバイザー配置費	予算額	△ 935千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△935	—	就職支援アドバイザーの活動時間が当初の見込みを下回ったことによる減
合計	△935	—	

単位事業名	キャリア教育推進事業	予算額	△ 180千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△80	—	講演会の実施回数が当初の見込みを下回ったことによる減
使用料及び賃借料	△100	—	会場使用料が当初の見込みを下回ったことによる減
合計	△180	—	